**藤岡地域包括支援センター　担当**

* **日　時：　令和5年7月19日（水）午後14時00分～14時34分**
* **会　場：　栃木市役所大平総合支所　第３会議室**
* **事例数：　1ケース**
* **参加者数： 15名**

**事例提供者1名、サービス提供事業者１名、助言者6名、**

**包括職員2名、傍聴者5名**

糖尿病と認知症があり、最近、失禁が多くなってきている90代女性。

**〈目標〉１日：** 畑の手入れを続ける。

**１年：** 身の回りの事や野菜作りが続けられる。

**利用サービス：通所リハビリ**

**《生活全般の解決すべき課題》**

・身の回りの事や畑の手入れが今後も続けられるよう、活動量の維持が必要。

・気持ちが落ち込む事で、状態も低下してしまう可能性がある。

**《助言者からの助言内容》**

・認知症の方の歯科受診につなげやすい声の掛け方について。

　　　・薬の副作用により脱水・尿路感染症のリスクがあるため、陰部の清潔保持が必要。

　　　・拮抗運動をひ孫と一緒に行うなど継続できるよう工夫しながら、段階を追って行うとよい。

　　　・生きがいである畑仕事を継続することが重要であり、継続するための注意点等について。

・食事の摂取量を把握し、低糖質の食品を増やすなどの工夫をするとよい。

・高齢者サロンや認知症のサロンの参加、今秋開設予定の認知症カフェの紹介。

骨折しない健康づくりや歯科受診を勧めながら、生きがいとなっている畑仕事を継続できるよう支援していく。

**☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）**

・地域の人との交流ができる場の提供